

○株式会社リタファーマ

株式会社 リタファーマ

- ・設立：平成25年1月
- ・代表：代表取締役 米戸 邦夫
- ・特筆事項：水溶性ヒアルロン酸口腔粘膜貼付に関する保有特許
- ・事業内容：水溶性ヒアルロン酸口腔粘膜貼付の医薬品、医療用具、化粧品、食品開発

<紹介製品>

ヒアルロン酸は、体内に含まれ、細胞と細胞の間に多く存在し、皮膚では真皮に多く、水分の保持やクッションのような役割で細胞を守っています。ヒアルロン酸が多く含まれていると、水分が十分保たれ、皮膚の表面も潤います。逆に少ない皮膚では水分が少ないので、肌の張りがなく、皮膚の表面も乾燥します。関節では関節液、関節軟骨などに多く含まれ、潤滑作用（骨と骨の間の滑りをよくする）や緩衝作用（クッションとしての役割）など、関節の動きを良くする働きをしています。リタファーマのヒアルロン酸口腔粘膜貼付材は取扱性が良好で、口腔粘膜表面の水分や唾液が多い場合でも口腔粘膜に貼り付く優れた貼付性を備えており、貼付後に水分や唾液を含んで弾性を示すことで貼付部位を物理的に保護する効果を高める特性に加えて、貼付部位に長時間残存する特性を備える口腔粘膜貼付材を提供します。この特性から口の中の絆創膏などへの応用が期待されています。

<注目点>

抗がん剤治療や放射線治療による副作用により、患者に口腔粘膜炎や口内炎が見られる。症状が酷くなると、痛みなどにより口から食事をほとんど摂れなくなり、抗がん剤治療を中断する必要性が生じる場合もあります。一方、口腔粘膜に貼り付けて、口腔内に生じる様々な疾患の治療に使用されるフィルム状製剤、錠剤、及び粉末が従来から知られるが、これらの薬剤では、口腔粘膜表面の水分量が多い場合に貼付性が十分ではありません。例えば市販品の口腔用貼付剤（錠剤）の“使用上の注意書”では、「患部粘膜が唾液などで著しくぬれている場合は、付着しないことがあるので、あらかじめティッシュペーパーやガーゼなどで軽く拭きとってから付着させること」と記載されている。また、口内炎パッチ（フィルム状製剤）の添付文書では同様に、「うがいなどで患部を清潔にした後、患部の水分・唾液などを軽くふき取ってください」と記載されています。また、口腔内の水分量によっては、口腔粘膜にフィルム状製剤などを貼り付けた状態で飲食すると、フィルム状製剤などが粘膜から容易に剥がれるという使用上の課題があります。リタファーマのヒアルロン酸口腔粘膜貼付材はこのような従来品の課題を解決し、しかもヒアルロン酸という体内に存在する成分を材料を用いており、安全性も高いという特性があります。

	ヒアルロン酸の分子量	性状	貼り付き性	残存状況		ヒアルロン酸の含有量 (mg/cm ²)	性状	貼り付き性	残存状況
実施例 1	230万	A	A	A	実施例 7	1	A	A	C
実施例 2	160万	A	A	A	実施例 8	2	A	A	B
実施例 3	120万	A	A	A	実施例 9	3	A	A	A
実施例 4	60万	A	A	B	実施例 10	5	A	A	A
実施例 5	35万	A	A	C	実施例 11	10	B	A	A
実施例 6	10万	A	B	D	実施例 12	25	C	A	A
					実施例 13	50	D	A	A
					実施例 14	100	D	A	A

図：ヒアルロン酸の分子量や含有量と貼り付き性・口腔内残存効果との相関

<関連特許>

- 特許第 6281968 口腔粘膜貼付材及びその製造方法
- 特願 2018-012425 医薬製剤及びその製造方法 ほか

<所在地・連絡先>

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都高度技術研究所8B10
<https://kic-net.jp/modules/company/index.php?did=184>
 電話番号 090-6328-4356 FAX 番号 075-326-2190